

令和元年度 地方創生関連交付金事業の概要

参考資料1-1

(1) 地方創生推進交付金

- ・地方創生を実現するための総合戦略事業を後押しするための交付金。補助率は1/2。
- ・交付金の型として、先駆性を重視する「先駆タイプ」（5か年認定）、先進的・優良事例の横展開を図る「横展開タイプ」（3か年認定）がある。また、単独市で認定を受ける「単独申請」と、複数自治体で共同して申請する「広域申請」がある。

| ア 県西地域活性化プロジェクト推進事業 | | | | |
|---|---------------------------------|--------------------------|----------|-----------------------|
| 計画期間： 5年 (H28～R2) | | 交付決定額： 10,375 実績額： 9,746 | | |
| <事業概要> | | | | |
| 神奈川県が進める「未病の改善」を県西地域を戦略的なフィールドとして位置づけ、食や運動など未病の改善に資する取組を展開することで健康づくりや地域活性化に繋げていく。 | | | | |
| <計画期間予定対象経費（R2.3末時点）> | | ※補助は、対象経費の1/2（単位：千円） | | |
| 2年目： 28,873 3年目： 22,952 | | 4年目： 20,751 5年目： 17,361 | | 総額： 89,937 |
| <KPI（目標）> ※広域枠での申請主体である県が設定。評価も県が実施。 | | | | |
| | K P I | 目標値（R1） | 基準値（H28） | 実績値 |
| ① | 県西地域2市8町における社会増減 | △400人 | △2,315人 | △217人 |
| ② | 県西地域2市8町における入込観光客数 | 3,632万人 | 3,410万人 | 県未公表 (H30:3,654万人) |
| ③ | 「県西未病観光コンシェルジュ」講座修了者数 | 500人 | 206人 | 535人 |
| イ 多様な分野で活躍する地方創生推進人材の育成・活躍促進事業～小田原市・南足柄市の地域間協働による取組～ | | | | |
| 計画期間： 3年 (H29～R1) | | 交付決定額： 9,458 実績額： 7,862 | | |
| <事業概要> | | | | |
| 社会・経済的に密接な関係を有する南足柄市と①職員②人材③コンテンツの3つの交流を通じてそれぞれが持つ地域の課題やノウハウを共有し、講座の相互受講などを行うことで広い視野を持って多様な分野で活躍する担い手の発掘・育成を図る。また、「知る・学ぶ」で終わらせずに具体的な活躍のフィールドにつなげることで「実践」にまで発展させていく。 | | | | |
| <計画期間予定対象経費（R2.3末時点）> | | ※補助は、対象経費の1/2（単位：千円） | | |
| 1年目： 3,820 2年目： 10,346 | | 3年目： 18,917 | | 総額： 33,083 |
| <KPI（目標）> | | | | |
| | K P I | 目標値（R1） | 基準値（H27） | 実績値 |
| ① | 小田原市・南足柄市における人口の社会減総計 | 191人 | △226人 | △173人 (R1.12末時点) |
| ② | 小田原市・南足柄市におけるNPO法人数総計 | 108団体 | 96団体 | 99団体 (R2.3末時点) |
| ③ | 小田原市・南足柄市における行う人材育成事業での講座受講者数総計 | 360人 | 0人 | 803人 (R2.3末時点) |
| ④ | 小田原市・南足柄市における観光入込客数総計 | 851.9万人 | 529万人 | 722万人 (R1.12末時点) |

ウ 交流・体感を通じた移住促進事業～先輩移住者と育む住みたいまちづくり～

計画期間： 3年 (H30～R2)

交付決定額： 1,950 実績額： 1,913

<事業概要>

先輩移住者や市民とともに、官民一体となって小田原暮らしをイメージできるような個別ガイドや移住体感イベントを開催するとともに、小田原のまちの全体像や暮らしの魅力を伝えるためのガイドブックを製作し、移住促進を図る。

<計画期間予定対象経費 (R2.3末時点) >

※補助は、対象経費の1/2 (単位：千円)

1年目： 7,704 2年目： 3,900 3年目： 4,652

総額： 16,256

<KPI (目標) >

| | K P I | 目標値 (R1) | 基準値 (H29) | 実績値 (R2.3末時点) |
|---|------------------|----------|-----------|---------------|
| ① | 本事業がきっかけとなった移住者数 | 6人 | 0人 | 6人 |
| ② | 本事業への協力者数 | 37人 | 30人 | 44人 |
| ③ | 本事業への参加者数 (非居住者) | 35人 | 0人 | 117人 |
| ④ | 行政や協力者への相談件数 | 100件 | 0件 | 136件 |

エ 歴史的資源を通じた賑わいと交流のコンパクトシティ形成事業

計画期間： 3年 (H30～R2)

交付決定額： 10,257 実績額： 9,755

<事業概要>

小田原駅周辺、隣接する箱根板橋駅・南町周辺において、かまぼこ製造など水産加工の営みを今に伝える地域、歴史と伝統のなりわい文化、そして明治時代の政財界を彩った人々の邸宅群など地域の歴史的・文化的資源を積極的に活用することで、観光交流等の促進による地域活性化を地方再生コンパクトシティ事業の一環として実施する。

<計画期間予定対象経費 (R2.3末時点) >

※補助は、対象経費の1/2 (単位：千円)

1年目： 26,622 2年目： 20,514 3年目： 28,114

総額： 75,250

<KPI (目標) >

| | K P I | 目標値 (R1) | 基準値 (H29) | 実績値 (R2.3末時点) |
|---|-------------------------|----------|-----------|---------------|
| ① | 小田原宿なりわい交流館の来訪者数 | 40,700人 | 35,700人 | 38,720人 |
| ② | 事業対象地区内の商店街等における空き店舗の減少 | 5軒 | 0軒 | 2軒 ※ |
| ③ | 主な歴史的建造物施設の入館者数 | 42,859人 | 35,717人 | 36,977人 |

※R2.3末時点の実績値については、新型コロナウイルスの影響により、本来活用されているはずの店舗のシャッターが閉じている可能性があり、R2.5末時点でも精緻な調査が出来ていないことから、今後、再調査を実施する予定

オ アフター・トワイライトの磨き上げを起点とするインバウンド推進事業

計画期間： 3年 (H30～R2)

交付決定額： 70,000 実績額： 64,054

<事業概要>

インバウンドに対応した体験・食・宿泊といったコンテンツを有機的につなぎ、ツアー商品として開発運営する推進主体としてDMCを設立し、インバウンド対応の前提となる外国人来訪者に対応するサイン類の整備やナイトライフの充実、観光サービス拠点を繋ぐ地域ツアーなどにより、コト消費拡大し、地域の稼ぐ力を高めていく。

<計画期間予定対象経費 (R2.3末時点) >

※補助は、対象経費の1/2 (単位：千円)

1年目： 12,000 2年目： 140,000 3年目： 140,000

総額： 292,000

<KPI (目標) >

| | K P I | 目標値 (R1) | 基準値 (H29) | 実績値 |
|---|------------------|----------|-----------|-----------------------|
| ① | DMCが取り扱う有料事業の売上高 | 43,360千円 | 0円 | 26,410千円 (R2.3末時点) |
| ② | 一人当たり観光消費額 | 3,408円 | 3,033円 | 3,292円 (R1.12末時点) |
| ③ | 小田原城天守閣外国人入場者数 | 44,000人 | 38,000人 | 42,049人 (R2.3末時点) |

(2) 地方創生拠点整備交付金

- ・「未来への投資」という経済対策の観点から総合戦略に位置付けられている地方創生の推進に資する施設整備等を対象とした交付金。
- ・補助対象期間は1年であるが、地方公共団体のみならず、公共団体等が整備した施設も対象となる。また、補助率は1/2であるが、残額には原則として地方交付税措置の対象となる補正予算債を充当することができる。

| ア 切れ目のない発達支援を軸とした「子どもを育てたいまち」推進事業 | | | | |
|--|--|---------------------------|-----------|-----------------------|
| 計画期間： 1年 (R1) | | 交付決定額： 15,833 実績額： 14,438 | | |
| <事業概要> | | | | |
| <p>発達における相談を乳幼児から学齢期、青壮年期まで切れ目なく相談を受けるための施設である「おだわら子ども若者教育支援センター」を開設するにあたり、特に就学前児童に対する発達支援のニーズが高まり、入園待ちが生じている通園施設「つくしんぼ教室」について、保育所等との併用児用クラスの受入人数増を図るため、新たに設備を整備する。</p> <p>また、子どもの訓練だけではなく、働き方講座やペアレントトレーニング講座、保護者同士の交流を目的とした保護者の集い、専門職との相談会などを開催し、就労支援の側面を含め保護者に対する総合的な支援も行う。</p> | | | | |
| <KPI (目標)> | | | | |
| | K P I | 目標値 (R1) | 基準値 (H30) | 実績値 (R1) |
| ① | 「おだわら子ども若者教育支援センター (R2.4.1開設)」の相談・支援業務を通じて就労した人数 | 0人 | 4人 | 0人 |
| ② | 発達支援事業の利用者数 | 0人 | 120人 | 0人 |
| ③ | 支援情報を共有するための連携シートの作成率 | 0% | 0% | 0% |
| イ 観光客の裾野拡大と回遊性の向上を促す拠点の整備事業 | | | | |
| 計画期間： 1年 (H29) | | 交付決定額： 61,163 実績額： 26,882 | | |
| <事業概要> | | | | |
| <p>観光の核である小田原城とロードバイク愛好者が多く通過する国道1号線に近接する「小田原スポーツ会館」について、ロードバイク専用駐輪場やシャワールーム等を備えるなどのリニューアル工事を行い、観光客の裾野を拡大させることができる施設としての機能を持たせた。(平成29年度に整備済)</p> | | | | |
| <KPI (目標)> | | | | |
| | K P I | 目標値 (R1) | 基準値 (H27) | 実績値 (R1) |
| ① | 観光入込客数 | 600万人 | 453万人 | 624万人 (R1.12末時点) |
| ② | 天守閣等入場客数 | 353万人 | 170万人 | 323万人 (R1.12末時点) |
| ③ | 三の丸売店における年間売上高 | 12,954千円 | 11,968千円 | 17,971千円 (R2.3末時点) |